



国民春闘共闘

2024年度 第3号
2023年11月15日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

11・9 全国統一行動 ストライキ、アピール行動などを全国で決起！

年末一時金集中回答日を受け、11月9日の全国統一行動ではストライキも含めて全国各地で多彩な行動を展開しました。

日本医労連 全国の職場でストライキ決起！



日本医労連では年末一時金要求に対する不誠実な回答に抗議し 32 組合（11 月 14 日集約時点）がストライキに突入しました。

さいたま赤十字病院では 44 人（保安要員 31 人含む）がストライキに参加。病院前での集会後、院内会議室で団体交渉報告を行いました。コロナ補助金を見込めないことを理由にした昨年同様の一時金回答に対し、「コロナ補助金を医療機器投資等に使用し職員に還元してこなかつ

た。補助金が見込めないから一時金の加算がないことは納得できない。職員の頑張りを形にしてもらいたい」と怒りを込めて団体交渉の状況が報告され、「労働条件を良くするも、維持するも組合員の数がなくては難しい。組合の仲間をみんなで増やそう」と呼びかけました。ストライキ集会には、埼労連、地域労連などの仲間も支援に駆け付けました。

広島医療生協労組では、ストライキ集会とスタンディングに 26 人が参加。署名行動も実施しました。

岩手医科大学教職員組合では、23 春闘の妥結結果を覆す回答が出されました。組合の合意なしにコロナ特殊勤務手当廃止強行など職員の思いに沿わない回答や対応であり、団体交渉を申し入れましたが開催にはいたらなかったため、指名ストライキを執行しました。11 月 29 日には全組合員を対象としたストライキを構えています。

山形では、地場民間全 9 単組で回答を引き出し、そのうち 3 単組がストライキに突入しました。医療生協やまがた労組は病院前にて 40 人でストライキを行い、地域にアピール。山形地区医療労組は 35 人でストライキを執行しました。

香川では各単組でストライキを行ったのち結集し、県議会前でのアピール行動や対県・対市交渉など県医労連一斉行動を展開し、メディアからの取材も受けました。

東京の日赤医療センター第一労組は 6 人がストライキに決起し、病院入口でのビラ配布では、用意した 400 枚のビラを完配しました。ストライキ集会では、組合員から「月 4 回の夜勤協定も守られない。115 名の育児時短勤務者がいるが、そのうち 25 人は夜勤に入っている」など、職員不足の中奮闘している状況が語られ、「人員を確保するためにも大幅な賃金・一時金の引上げが必要」と声を上げました。

東京勤医会代々木病院支部では、80 人（保安要員含め 140 人）が参加して、始業に合わせて集会を開始、「団体交渉では、30 名にのぼる組合員の訴えがあり、時に涙する場面もあったものの、使用者側は、経営難と診療報酬を言い訳にした引き下げを回答、よって交渉は決裂。タスクシフトなどをしながらも日々努力する現場を軽視する使用者にショックを受けた」と前日の団体交渉の経過が報告されました。集会のあと、千駄ヶ谷駅前に移動して、署名宣伝行動を行いました。

大阪春闘共闘・大阪労連 年末一時金大幅引き上げ、ボーナス差別やめろ！

大阪春闘共闘・大阪労連は、全国統一行動として「年末一時金の大幅引き上げ、ボーナス差別やめろ！」宣伝を行いました。

ビラを受け取ると、すぐに広げて読み始める人や短時間で働いている方が残業代の質問をしてこられる場面もありました。



愛知国民春闘共闘・愛労連 民間も公務も賃上げだ



愛知国民春闘共闘・愛労連は、「民間も公務も、正規も非正規もすべての労働者の大幅賃上げを～11.9 全国統一行動愛知決起集会」を開催し、35 人が参加しました。

決起集会に先立ち、18 時 15 分から名古屋駅前で 39 人が参加し、宣伝行動を行いました。配布したビラ（ティッシュ入れ）は 441 枚、賃上げアンケートには 48 人が協力、時給者は 30 人中 23 人が 500 円以上、月給者は 18 人全員が 6 万円以上にシールを貼りました。